（1）　明治20年創刊　第38331号（第3種郵便物認可）　THE JOMO SHINBUN　（日刊）

上毛新聞

発行所（〒371−8666）
前橋市古市町1−50−21
上毛新聞社
電話 市外局番（027）
（編集）254−9933（広告）254−9944
（販売）254−3131（事業）254−9955
（印刷）254−9985（出版）254−9966
（システム）254−9936（発送）254−9984
（総務）251−9977（総合）251−9911
© 上毛新聞社 2001年

お年始にお茶とのり
前橋中央通り
水本園
☎027(231)2006

読者センター
☎ 027-254-9922
FAX 027-251-4334
Eメール houdou@jomo-news.co.jp
群馬のポータル
http://www.raijin.com/

「農家の再建に全力」

狂牛病問題

危機管理甘さ認める

武部農相が宮城村入り

生産者と意見交換

武部勤農相は二十八日、国内三頭目の牛海綿状脳症（狂牛病）の牛が確認された宮城村を視察し、感染牛が見つかった酪農家や村内の生産者らから意見を聞いた。武部農相は酪農家に対し、国の危機管理の甘さを認め、「発生農家再建に全力を期す」と、支援策を充実する考えを示した。また、食肉処理の際の全頭検査で流通する牛肉の安全性が確保されていることを強調。感染原因の究明についても「農水省として一番エネルギーをさいている」と語った。

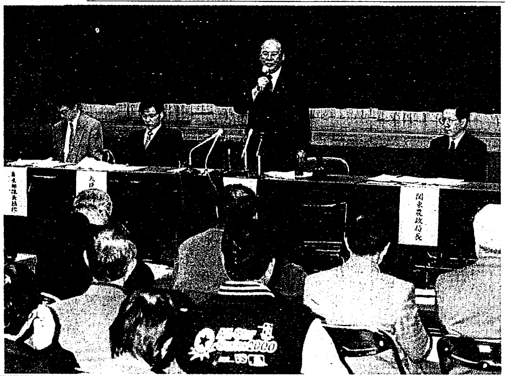
武部農相は午後一時半、梅津準士大臣官房審議官らと発生農家宅を訪問。予定を四十分近く上回り、約五十分にわたって意見を聞いた。この後、村農村環境改善センターに移り、約百二十人の生産者、村民らと約一時間、意見交換した。

意見交換の中で桜井敏道村長は、①発生農家への支援②流通停止状態にある村の生産者に対する支援③牛肉消費回復策の徹底—を強く要請。生産者らは「今のままでは再生産をしていけない。農民が安心して農業ができるような支援を」、「廃用牛が処分できる仕組みをつくってほしい」、「（感染の疑いのある）擬似患畜の範囲が広すぎる」などと訴えた。

武部農相は発生農家支援策について、「万が一（新たな感染牛が見つかる）次の対象になっても、あれだけのことをしてくれるんだということをしたい」と述べた。地域対策としては特別交付税の措置に触れたが、具体的な言及は避けた。

北海道中標津町で「原因解明が酪農家にとってそんなに大きな問題か」と発言したことについて、「感染源の究明は迷宮入りさせない。だが、それと牛肉の安全性は分けて考えてほしい。（新たな感染牛が）出る可能性はあるが、出たとしても市場に出回るものは全頭検査で安全なものしか出ない」と、あらためて釈明した。

意見交換に出席した肉牛生産農家の男性（四八）は「時間が短すぎた。これでは生の声を聞いてもらえていない。具体的なことには触れていなくて残念だ」と不満をのぞかせた。桜井村長は「国が真剣に対応策を考えてくれていることは理解できた。着実に、具体的に、早急に実行してほしい」と話した。



生産者らを前に農家支援の充実などを説明する武部農相＝宮城村鼻毛石の村農村環境改善センター

「国の約束信じるしか…」

酪農家

「国は危機管理に甘さがあったことを認めた。今後、経営を再建するために一刻も早く具体的な支援策を出してほしい」。飼育していた牛が国内三頭目の牛海綿状脳症（狂牛病）と確認された宮城村の酪農家は二十八日、武部勤農相の訪問後、報道各社に語った。

酪農家によると、武部農相は一連の問題の経緯について説明した後、「（支援を含めた）諸対策をきちんとやる」と約束。苦しい経営状況などを訴えると、深くうなずいていたという。

原因究明については、具体的な内容に触れず、「感染ルートは調べるが、その問題と消費や支援対策の問題は別に考えてほしい」と説明。これに対し、酪農家側は調査を積極的に行い、日本が正常な畜産国に早く戻れるよう求めたという。

酪農家は「同席した県側も酪農家の気持ちを積極的に国に言ってくれた。大臣には自分たちの不満がよく伝わったと思う。もう後は国の約束を信じて経営を再建していくしかない」と話した。

武部農相は県の高山昇副知事や宮城村の桜井敏道村長らとともに酪農家宅を訪問した。

きょうのNEWS

失業世帯主100万人超す

② 総務省が発表した11月の労働力調査によると、完全失業率は前月より0・1ポイント悪化し、調査開始以来最悪の5・5％となった。最悪更新は3カ月連続で、失業者数は350万人。世帯主の完全失業者は初めて100万人を突破した。

- 韓国にサンマ漁9000トン許可（2）
- 不審船銃撃から1週間（3）
- 印パ緊張状態が新局面に（4）
- 「国民の痛み」中心に議論（9）
- 高校生就職内定率が最低（15）

検査済みの擬似患畜35頭は陰性

県牛海綿状脳症対策本部は二十八日、感染の疑いのある擬似患畜に決定した七十九頭のうち、検査を終えた三十五頭はいずれも陰性で牛海綿状脳症（狂牛病）に感染していなかった、と発表した。

擬似患畜は、宮城村で飼育されていた国内三頭目の感染牛との同居歴などから決定。隔離飼育されて順次、殺処分されている。殺処分後、つくば市の動物衛生検査所に延髄を送り、感染の有無を確認している。

群銀支店にけん銃強盗

解体業者を逮捕

爆破予告日連続3件目

前橋署が関連調べる

二十八日午後二時十分ごろ、前橋市千代田町二丁目の群馬銀行前橋中央支店（設楽政晴支店長）に、けん銃のようなものを持った男が押し入った。男は用意したリュックサックに「金を入れろ」などと脅迫したが、男性客（七六）ら三人に取り押さえられた。前橋署は強盗未遂の現行犯で、前橋市荒牧町、自称建築物解体業、大谷内康隆容疑者（四七）を逮捕した。県内ではこの日を含めて、十一月末から三回あった県庁などに対する爆破予告日に強盗事件が発生、県警では各署に警戒を指示していた。同署と県警捜査一課は関連を調べる。

関連記事15面

調べによると、大谷内容疑者は、同支店正面出入り口から侵入。けん銃のようなものをちらつかせ、カウンター越しに女性行員らを脅迫した。男性客に腕をつかまれるなどしたため、犯行を断念。外に止めた自転車で逃げようとしたところ設楽支店長ら三人に取り押さえられた。当時、店内には行員六人と七、八人の客がいたが、けがはなかった。

県庁を爆破する予告電話があったのは、十一月三十日と今月七日。最初に予告があった日には、伊勢崎市のショッピングセンターで、けん銃のようなものを持った男が車を強奪。二回目の予告日にも、けん銃男が前橋市の信用金庫で現金約三十万円を奪っていた。

二十八日は、前橋市大渡町の県公社総合ビルに爆破予告電話があった。

若者呼び街活性化

来月から 太田市 空き店舗を学習室に

ADSLも使えるよ」

太田市は来年一月、中心商店街の空き店舗を利用し学習室「まちなか楽習館（がくしゅうかん）」をオープンする。空き店舗を改装して学習ができる環境にし、高校生や大学生、社会人などに一定期間、有料で提供する。商店街の地盤沈下で空き店舗が増えている中、中心街の活性化に向けてさまざま空き店舗の利用方法が試みられているが、「学習」を目的に若年層の呼び込みを図ろうという同市の独自の試みとなる。

郊外の大型店などの影響で商店街の空洞化が進む同市では、これまで各種の空き店舗対策が試みられたが、抜本的な有効策がなかった。今回、若者層をターゲットに街中ににぎわいを取り戻そうと、学習室設置案が浮上した。

学習室として活用されるのは、同市本町の本町通りに面した一角。通り周辺には約十五店の空き店舗があるが、店舗面積や立地などを勘案し、元携帯電話販売店跡を利用することにした。

改修した広さ約三十三平方メートルの店舗内に、十二の机を設置。机の間に間仕切りボードを置き、学習に適した環境となるようにする。また、インターネットのADSLが使える「ブロードバンドシティー太田・ぶぶこ」のラインを引き込み、

べ物などにも対応できるう配慮している。

募集人員は十二人。高校や大学生などのほかに、一般市民やベンチャー企業家なども対象とする考え。利用時間は午前九時から午後九時半まで。料金は一カ月二千円で、ぶぶこ利用者は二千五百円とする。

清水聖義市長は「太田駅周辺一キロ地域には多くの空き店舗がある。学習室としてどのくらいの利用があるか、今回はまだテスト段階だが、要望が多ければ他の空き店舗にも広げていきたい」と、利用に期待を寄せている。

来年度県予算案 財政課長内示

復活折衝難航で越年

仕事「納められず」

県の二〇〇二年度一般会計当初予算案編成作業で、財政課長内示（二十五日）を受けた各部局との復活折衝が難航している。通常は内示日に調整を行って決着し、総務部長査定の段階に移るが、今年は「仕事納め」の二十八日になっても終わらず、年明けに持ち越された。越年は極めて異例のことで、厳しい財政状況下での予算編成の難しさが浮き彫りになっている。

各課から財政課に出された調整（復活）要求は約二百二十件、九十億円余りに上る。事務事業の徹底した見直しの過程で、同課がゼロ査定したり、金額を削り込んだ事業などが対象で、同課の担当者との間で丁々発止の議論が続いている。

慣例化した補助事業や、国補助への県費の上乗せなどにも切り込み、「聖域なき改革」に取り組んだためだが、予算を削られた側は関係団体に対する課のメンツもかかるだけに必死。課長が血相を変えて同課に乗り込むケースも目立つ。調整要求が再要求、再々要求、再々々要求とエスカレートしているが、財政当局側も「ないそでは振れない」と厳しい姿勢を堅持しており、終わりなき攻防戦の様相だ。

同課では「課長内示から四日もたって終わらないなんて。必要がなくなったり、薄れた事業は廃止するといったスクラップ・アンド・ビルドを徹底してほしい」と各課に理解を求めている。

予算編成は来年一月十七日から総務部長査定、三十日ごろから知事査定が始まり、二月上旬に内示される。

「びっくりする出来事多く」

仕事納めで知事

官庁の仕事納めの二十八日、小寺弘之知事は県庁・県民ホールで、「年末あいさつ」を行い、県職員や庁内で働く警備員、清掃員らの労をねぎらった。

あいさつは午後三時半から、職員ら約千二百人を前に行われた。小寺知事は「今年は二十一世紀初めの年で、希望に胸を膨らませて臨んだが、びっくりするような出来事も多く起きた」と、一年を総括。

十一月の国民文化祭を振り返り、「各分野の人々、多くの県民の協力で新しいことに取り組んだのは大きな成果。文化が着実に県内に芽を出した。人間がどう生きるかに深く結びついている文化に、来年以降も取り組みたい」と述べた。

今春退職した県職員

再就職率初の50%台

今春退職した県職員百二十一人のうち、再就職したのは七十人にとどまって再就職率が初めて50%台に下がったことが二十八日、県人事課の調査で分かった。

再就職先は県の非常勤嘱託が二十二人、県が出資している公社・事業団が十人、その他の団体が二十一人、民間企業が十七人。部局長で退職した六人のうち、再就職したのは四人で、大月邦夫氏（衛生環境研究所長）が日赤血液センター所長、青木茂一氏（人事委事務局長）が同センター事務部長、内山仁也氏（農林大学校長）が公園緑地協会・群馬の森園長（非常勤）に就き、久保田昇氏（地労委事務局長）は自己開拓で民間企業に入った。

再就職率は57・9%。前年度は62・6%で、例年60%台が続いていた。同課は「法人については自主性、自立を促進しており、相手先の要請に基づいて世話をしている。積極的な働きかけはしていない」と話している。

県警の退職者は一般職を含め六十四人。木村貞光氏（刑事部長）が自動車安全運転センター所長に就くなど、五十人が関係団体や民間企業に再就職した。

県内の天気

数字は降水確率（左から午前・午後・夜）

北部

きょう　10｜10｜10
北日中南東の風、晴れ。明け方まで曇り一時雪。

あす　40
北西の風、のち強く曇り時々晴れ。山沿い時々雪。

南部

きょう　0｜10｜10
北日中南東の風、晴れ。

あす　10
北西の風、のち強く曇り時々晴れ。

きょうの東京　0｜10｜10

週間予報　31（月）　1（火）　2（水）　3（木）　4（金）

予想気温（前橋）

	きょう	あす
最低	−1度	0度
最高	11度	9度

月齢 14.3
日出 6:54
日入 16:37

三山春秋

時々「都心の中古マンションを買わないか」とか、「金融や財テク商品はどうか」といった電話が掛かってくる。そうした勧誘に共通するのが「買っておいて絶対に損はない」という文言▼いつも思うのだが、そんなにうまい話なら、何も他人になど勧めず、電話の主が買えばいい。最近は勧誘の仕方も巧妙で、大学の後輩だとか、名字でなく名前を言ったりするから、よほど親しい友達かと思って家族が取り次いでしまう▼これらの電話の主は男性が多い。「長く不況が続いているのでリストラにでもなり、この仕事に就いたのか？　さぞしんどいだろうな…」。そんな風に思うと、気の毒にはなるが、大体の話が分かった時点で、「申し訳ないが勘弁してほしい」と丁寧に断る▼ところで、このところ何とも腹が立つ電話がある。話の最中に、相手が一方的に切るのだ。「買わない」と判断したのだろう、時間の無駄遣いとばかりに突然ガチャン。何とも許しがたい行為だが、先方の名乗った会社名には心当たりもなく、文句の言いようがない▼しかし、いくら先方から突然切られるだろうと思っても、相変わらず、こちらからは切れない。その理由は、自分にはとてもできそうもない、電話で見ず知らずの人に商品を売る、という厳しい仕事に従事する人たちへの心遣いだと思う▼一人一台の携帯電話の普及など、もはや現代人にとって電話のない生活は考えられない。もちろん、電話を使ったセールスすべてが悪いとは言わない。けれども、掛けた方が受話器をあとに置く。それくらいのマナーは守ってほしいものだ。

今年もご愛顧賜わり 誠にありがとうございました
湯の花饅頭 清芳亭
伊香保温泉入口 ☎0279(20)3939
御年賀にこだわりの栗羊羹

小さな高級車
プログレ
PROGRÈS
お客様相談フリーダイヤル 0120-29-5123
群馬トヨペット
http//www.toyota.co.jp/p-gunma/

預金者のみなさまへ

「名寄せ」の預金者データ整備にご協力ください

◇現在、各銀行では、同じ預金者が一つの銀行に複数の口座を持っている場合にその残高を合算する「名寄せ」のための預金者データの整備を進めています。

◇これは、来年四月以降に銀行等が万一破綻した際、預金者のみなさまに預金等の払戻しを迅速に行うために必要な措置で、預金保険法で義務付けられています。

◇このため、お取引銀行から、必要なデータ（生年月日、設立年月日、電話番号など）のご確認をさせていただく場合がありますので、ご協力をお願いします。（暗証番号をお問い合せすることはありません。）

全国銀行協会
http://www.zenginkyo.or.jp/

1年間ご愛顧ありがとうございました

来年は1月4日より通常通り営業いたしますので
よろしくお願いいたします

地域金融機関としての自覚
相互扶助と地域社会との共存共栄がたかしんの原点です

地域にお住まいの方々のお役に立ちたい
地域で事業を営む方々のお役に立ちたい
地域社会のお役に立ちたい

これが高崎信用金庫 創業以来88年にわたる
変わらない姿勢です

この街と生きていく

佐藤藍子

たかしんのATMは365日ご利用できます

年末年始の営業のご案内

	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	1月4日
窓口営業	休	休	休	休	休	休	○
ATMコーナー	○※1	○※1	○※1	○※2※1	○※1	○※1	○
本店営業部全自動貸金庫	○	○	○	○	○	○	○

○印が営業日です

※1 振込の取扱いはいたしません
高崎市役所出張所、高崎市場支店のATMコーナーは休止いたします
※2 プロムナード両水並榎店、プロムナード両水石原店、スズラン高崎店のATMコーナーは休止いたします

高崎信用金庫は地球に優しく
社会と融和した環境マネジメント
を推進致します

「国際環境規格ISO14001」
本部・本店で認証取得

たかしんは全店4時まで
営業しております

人、街、未来にニューバンク
高崎信用金庫
高崎市飯塚町1200 ☎027-360-3000
www.takashin-net.co.jp

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。